

ここが聞きたい 個人質問



個人質問 質問項目一覧表

議員名	全ての質問項目	ページ
タコスキッド	公園で遊ぶ子ども達的环境について	41
	手話通訳者の処遇改善について	
	市民農園について	
	地域生活支援事業について	
神武 綾	持続可能な介護保険制度の構築について	42
	すべての子どもたちの学びの保障について	
瀬筒 義久	地域猫活動について	42
	立地適正化計画について	
原田久美子	地域公共交通について	42
	移動スーパー事業について	
陶山 良尚	元号「令和」を活かした今後のまちづくりについて	43
岡林 直人	「市民の意見箱」の活用について	43
	選挙の投票率向上について	
	今夏の猛暑対策について	
川口 親丸	コミュニティバス「まほろば号」について	43
	小学校給食の無償化および中学校給食の10割補助について	
	財政調整基金について	

本会議の録画映像の配信を行っています。

質問者のページに表示している二次元バーコードから、録画映像にアクセスできます。

A ①都市公園におけるボール遊びについては、硬いボールは運動施設を有する公園を除き禁止しています。一方、やわらかいボールについては基

礎を問う。
 ②公園の利用制限を緩和するには地域住民との合意形成が重要であると考え、一定のルールの下で子どもたちが公園でボール遊びを行えるようにすべきと考えるが市の見解を問う。

Q 市内の多くの公園ではボール遊びが禁止されており、フェンスの設置やルールづくりによって、公園で遊ぶ子どもたちの環境を改善すべきであると考え、ため2点伺う。



タコスキッド 議員

問

子どもが安心してボール遊びできる公園づくりを進めよう



本的に制限しておらず、市内141か所の都市公園で利用できます。
 ②公園利用に関するルールや設備については、より柔軟で適切な対応が必要と認識しています。地域住民の皆さまとの対話の場を設け、意見を丁寧に伺いながら、公園のあるべき姿をともに考えていくことが重要です。今後は、近隣自治体の事例も参考にしつつ、地元自治会と協議を重ねながら調査研究を進めていきます。





問 持続可能な介護保険制度を
目指せ
神武 綾 議員

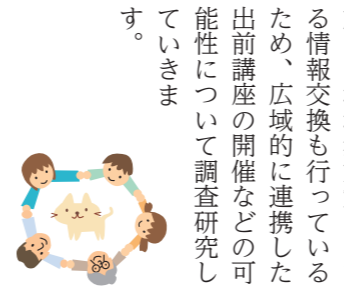


Q 第10期介護保険事業計画策定に向けて、第9期における進捗と今後の方向性について3点伺う。
①介護保険料の改定について、今期の引き上げによる運営への影響は。
②在宅介護を支える訪問介護事業所の需要と供給のバランスの現状は。
③地域支援事業のうち、地域包括支援センターの運営状況と、アウトリーチ型の集いの場・教室づくりの進捗は。



は、就職フェアや人材確保支援の補助金制度の創設などを行っています。訪問介護の利用件数が増加しているため、今後も需要と供給のバランスを注視していきます。
③地域包括支援センターへの相談件数は増加傾向にあり、介護や医療に関する相談に加えて、複合的課題を含むケースが増加しています。アウトリーチ型の集いの場・教室づくりの進捗について、専門職による地域出前講座を展開し、介護予防の普及啓発に努めています。

Q 地域猫活動について5点伺う。
①地域猫活動の実施状況、不妊・去勢手術補助金の執行状況、苦情内容と件数は。
②不妊・去勢手術補助金申請の簡素化に向けた検討状況は。
③地域猫活動のボランティア団体の認定や登録制度、活動を継続しやすくする支援策は。
④高齢者による多頭飼育崩壊の問題に対する民生委員や自治会との連携対応を行う考えはあるか。
⑤周辺自治体と連携して広域的に地域猫を市民に理解してもらうための説明会や出前講座等の開催について



令和7度10月現在20件です。
②指定動物病院を7か所に増やし、申請を通常可能とし、様式改正を進めています。
③地域猫サポーターを登録し、活動の円滑な導入や適正管理を支援しています。
④高齢化に伴い飼育困難になった場合、民生委員などを通じて相談を受けており、関係部局と情報共有を図りながら対応しています。
⑤近隣市と連携した動物愛護の普及啓発活動を実施し、地域猫対策に関する情報交換も行っているため、広域的に連携した出前講座の開催などの可能性について調査研究していきます。

Q 本市は県内初のコミュニティバスとして、平成10年4月にまほろば号の運行を開始し、道路が狭い地域には、平成23年に地域線の運行を開始した。しかし、現在では運転士確保が困難という理由でまほろば号のダイヤ改正、路線バスの減便がなされたため2点伺う。
①まほろば号のダイヤ改正の決定方法および利用者への周知状況。
②AIオンデマンド交通「のーと太宰府」の利用方法および現在までの利用者数。



事前周知として、自治協議会での説明、広報紙・HP・バス停・バス内・公共施設でのお知らせなど可能な限りの手法により周知に努め、加えて、当該地域にお住まいの方々への説明の機会を設けます。
②予約に応じて運行を行う特徴のため、電話・LINE・専用アプリで予約し、乗降ポイントに迎えに来た車両に乗車していただきます。現在までの利用者数は延べ2400人を超えています。

まほろば号時刻表の表紙



問 地域猫活動を促進させよ
瀬筒 義久 議員



Q 「市民の意見箱」は、広く市民の声を聞き市政に生かすための重要な仕組みである。さらなる活用のため3点伺う。
①令和7年度の実施結果と前年度との比較、主な内容について
②集計および分析の方法、関係部署への共有の方法、具体的な活用方法について
③より多くの意見が寄せられるための新たな取り組みについて

令和7年度は、予算計上した100万円全額分交付を予定しており、活動支援を進めています。相談件数は、令和6年度13件、



問 地域公共交通を利用者のために
原田 久美子 議員



Q 市民の皆さまから様々な声が寄せられ、特に「まほろば号」などのバスの減便について、大変切実な声をいただきました。学生や子育て世代、高齢の方など幅広い方が現状や将来に不安を感じている。運転士の確保が困難な状況にある中、慢性的な運転士不足や、時間外労働の上限が規制される2024年問題も重なり、今後さらに運転士が減少する見込みである。これまでの運転士確保に向けた対策とその成果について伺う。

全国的に運転士不足が深刻であり、公共交通の確保が危機的な状況の中、運転士を確保するための施策として、本市では令和7年6月に第二種運転免許取得支援事業を創設しました。本事業は第二種運転免許を取得した人を対象に費用



問 「令和」を活かした
今後のまちづくりを
陶山 良尚 議員



Q 元号「令和」を活かした今後のまちづくりについて4点伺う。
①令和改元5年記念事業の評価と今後の「令和」の活用の方向性は。
②(仮称)令和万葉館の設置に向けた進捗状況について
③万葉集に縁のある自治体との新たな連携について
④今後の取り組みについて

て、現地調査やアンケート調査を行いました。これまでの取組を生かしつつ、今後も本市にふさわしい施設や情報発信の在り方について引き続き調査研究していきます。
③今後、具体的な検討を行っていくにあたり、本市の文化・観光振興にどのような生かせるかという観点から、必要に応じて情報共有や連携の可能性について調査研究していきます。
④①郷土愛の醸成や市民意識の高揚を図る上で効果的な視点ですので、他自治体の事例を参考に検討していきます。



坂本八幡宮



問 「市民の意見箱」の現状と
今後の取り組みは
岡林 直人 議員



Q 市民の意見箱は、広く市民の声を聞き市政に生かすための重要な仕組みである。さらなる活用のため3点伺う。
①令和7年度の実施結果と前年度との比較、主な内容について
②集計および分析の方法、関係部署への共有の方法、具体的な活用方法について
③より多くの意見が寄せられるための新たな取り組みについて

ています。意見箱から回収、受付後は市長・関係課に回覧し、個別の案件について丁寧に対応しています。
③市民からより多くのご意見を頂戴するために、様々なツールを用意する必要があり、市民の意見箱に対しての改善や増設等の要望はありませんが、意見を頂戴する方法としてどのような方法が最適か、時代の流れとともに常に研究していく必要があると考えます。



市民の意見箱



問 「まほろば号」の
運転士の確保を
川口 親丸 議員



Q 市民の皆さまから様々な声が寄せられ、特に「まほろば号」などのバスの減便について、大変切実な声をいただきました。学生や子育て世代、高齢の方など幅広い方が現状や将来に不安を感じている。運転士の確保が困難な状況にある中、慢性的な運転士不足や、時間外労働の上限が規制される2024年問題も重なり、今後さらに運転士が減少する見込みである。これまでの運転士確保に向けた対策とその成果について伺う。

の一部を補助するものであり、市民の就業機会の拡大及び運転士確保を図るとともに、市内を運行する乗り合いバス路線、タクシー事業者の維持・確保を図ります。今後も、国や県の取組とも連携して運転士確保に取り組んでいきます。

